



音楽を通し夢と希望届ける

学びいなで夢いっぱいコンサート



コンサートを楽しむ子どもたち

北会津地区PTA連絡協議会が主催する子どもたちのリフレッシュ事業「夢いっぱいコンサート」は12月5日、学びいなで開かれ、町内の小、中学生約1000人が音楽を満喫しました。

午前と午後の2部構成で、会津若松市出身のキーボード奏者、佐藤優作さんと同市出身で歌手の越尾さくらさんが出演しました。

佐藤さんは「千と千尋の神隠しメドレー」「ライオンキング」、越尾さんは今年のふくしま駅伝のテーマソング「今カケル未来」などを披露。子どもたちは心温まる演奏に触れ、夢と希望を持つことの大切さを感じ取っていました。

東京電力に6100万円を請求

福島第一原発事故による損害賠償



新妻常務(左から1人目)に請求の内容を伝える前後町長

町は12月5日、東京電力福島第一原発事故による損害賠償として約6100万円を東電に請求しました。

請求の対象期間は昨年事故発生から今年3月31日までで、主な内容は、町が実施した風評被害対策事業費約3400万円や、町税の入湯税減収分約1700万円、放射線対策事業費約690万円などです。

町役場を訪れた東電の新妻常務執行役に前後町長が請求書を手渡すと、新妻常務は「内容を確認して、しっかり対応したい」と話しました。

祈願祭で無事故と誘客願う

猪苗代スキー場で安全祈願祭開催



玉串をささげ、今シーズンの安全を祈願する前後町長

猪苗代スキー場の安全祈願祭は12月1日、同スキー場「I・S・K」で開催されました。祈願祭には町内の関係団体やスキー場関係者ら約40人が出席、玉串をささげ、シーズン中の無事故と盛況を願いました。

神事後、鈴木宣夫猪苗代スキー場組合理事長が「一人でも多くのスキーヤーを呼び込んで、町の活性化につなげたい」とあいさつ。前後町長は「今シーズンは苦戦が予想されるが、誘客のためさまざまな事業を展開していく。関係者の皆さんには、おもてなしの心での接客をお願いしたい」と話しました。

心を癒す音色に酔いしれる

学びいなでいなわしろ音楽祭開催



猪苗代吹奏楽団と猪苗代高校吹奏楽委員会の演奏

猪苗代吹奏楽団が主催する「東日本大震災復興支援音楽祭2012 いなわしろ音楽祭」は12月8日、学びいなで開かれました。同楽団の他、猪苗代高校吹奏楽委員会、福島県ばんだい荘あおば、猪苗代中学校3年3組、東中学校合唱部、千里幼稚園など町内の団体に加え、東京都から中野坂上ウインドオーケストラと実践学園高校合唱部も参加。吹奏楽はもちろん、太鼓や合唱などさまざまな音楽が観客の心を癒しました。

昨年に引き続き、会場入り口には震災復興支援のための募金箱も設置され、集められた浄財は町に寄付されました。

実情に合ったサービスのため

町地域公共交通会議が開催される



事務局の説明を聞く委員の皆さん

町地域公共交通会議委員委嘱状交付式・第1回会議は11月26日、町役場で開催され、町内6地区の区長会長、バス・タクシー事業者や行政機関などの委員22人が出席しました。

この会議は、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項について協議することを目的として開催しました。

今回の会議では、昨年4月から本格運行に移行した乗合タクシーの対象地域の追加や、路線バス利用促進対策事業の実施について協議しました。今後は、より身近で親しみやすく、使いやすい公共交通の実現に向けて随時見直しをする予定です。

男たちが4品の料理に挑戦

食改が「男の料理教室」を開催



作った料理を盛り付ける参加者ら

「男の料理教室」は12月3日、町農村環境改善センターで開かれ、参加した17人の男性が料理に挑みました。

家族が病気にかかったときなどに備え、男性も料理ができるようにと町食生活改善推進委員会が開いたもので、同会の女性10人の指導のもと、かき雑炊、きんぴらごぼう、冬野菜のサラダ、フルーツヨーグルトの4品を作りました。

午後からは、生活習慣病(メタボ)予防について講話。参加者らは真剣な表情で聴き入り、食と健康の関係について理解を深めました。